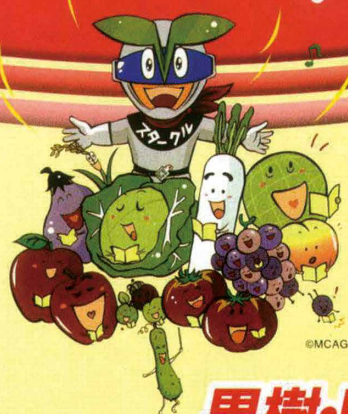




スタークル®

顆粒水溶剤

スタークルは三井化学アグロ株式会社の登録商標です。


 農林水産省「稲・麦・雑穀類飼料
生産・給与技術マニュアル」に
掲載された農薬です。


©MCAG

適用拡大!!
【作物名の追加】

 ・食用なでこ、食用プリムラ、食用エキザカム、
食用せんにちこう：アブラムシ類、コナジラミ類

【適用害虫名の追加】

・きゅうり：カメムシ類

(平成29年10月11日の拡大登録内容より抜粋)

 野菜等の
登録は裏面を
ご覧ください。

果樹・野菜・水稻・茶・花きの多様な場面で活躍します!
■適用害虫及び使用方法(水稻・果樹・茶・てんさいだいず・えだまめ・花き・樹木類・水田作物・畑作物(休耕田)・いね科牧草)

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用 時期*	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	カメムシ類	2000	60~150ℓ /10a	7日前			4回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は合 計1回以内、本田 での散布、空中散 布、無人ヘリ散布 は合計3回以内)
	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	3000					
りんご	アブラムシ類 キンモンボンガ シンクイムシ類 ギンモンハモグリガ コナカイガラムシ類 カメムシ類				3回以内		3回以内
もも ネクタリン	モモチョッキリソウムシ アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類						
おうとう	オウトウショウジョウバエ カメムシ類				2回以内		2回以内
なし	アブラムシ類 シンクイムシ類 カメムシ類 ケムシ類 コナカイガラムシ類 チュウゴクナシキジラミ	2000					3回以内
かき	カメムシ類 コナカイガラムシ類 カキノヘタムシガ チャノキアザミウマ カキウダアザミウマ				前日	散布	4回以内 (塗布は1回以内、 散布は3回以内)
マンゴー	チャノキアザミウマ						
小粒核果類	アブラムシ類 カメムシ類 シンクイムシ類		200~700ℓ /10a				3回以内
ぶどう	カメムシ類 ブドウラカミキリ				3回以内		3回以内 (塗布は1回以内)
	フタテンヒメヨコバイ	3000					
かんきつ	チャノキアザミウマ コナカイガラムシ類	1000~ 2000					3回以内
	ゴマダラカミキリ	1000					
	アブラムシ類 ミカンハモグリガ カメムシ類 コアオハナムグリ ケシキスイ類 ミカンバエ アカマルカイガラムシ ヤノネカイガラムシ サンホーゼカイガラムシ ミカンキジラミ コナジラミ類 チャノミドリヒメヨコバイ アオハハゴロモ	2000					
あけび(果実)	カメムシ類	2000		14日	2回以内		2回以内
キウイフルーツ	カメムシ類	1000~ 2000		前日	3回以内		3回以内
びわ	カメムシ類 ビワキジラミ	2000			2回以内		2回以内
かんきつ(苗木)	ミカンハモグリガ	50	100mℓ/株	育苗期	5回以内	株元 灌注	5回以内
茶	チャノボンガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキアザミウマ ツマグロアオカスミカメ コミカンアブラムシ	2000	200~400ℓ /10a	摘採 7日		2回以内	散布
	アブラムシ類 テンサイモグリハナバエ	2000~ 3000	100~300ℓ /10a	7日			
てんさい	カメノコハムシ	1000~ 2000					
	テンサイモグリハナバエ テンサイトビハムシ	100~ 200	5ℓ/ペーパー ポット6冊 (2.5ℓ/m ²)	移植前	1回		3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
だいず	アブラムシ類 テンサイモグリハナバエ テンサイトビハムシ	100~ 240	6ℓ/ペーパー ポット6冊 (3ℓ/m ²)				
	カメムシ類 ダイズサヤタマバエ	2000					3回以内 (は種時の土壌 混和は1回以内、 散布は2回以内)
えだまめ	フタスジヒメハムシ	3000					
	カメムシ類 ダイズサヤタマバエ アブラムシ類 ハモグリバエ類	2000	100~300ℓ /10a	7日	2回以内		散布
花き類・ 観葉植物 (きくを除く)	フタスジヒメハムシ	3000					
	アブラムシ類 コナジラミ類	2000~ 3000		発生 初期			灌注
きく	ハモグリバエ類	1000	1ℓ/m ²				
	アブラムシ類 コナジラミ類	2000~ 3000	100~300ℓ /10a		5回以内		散布 (土壌混和は1回以内)
樹木類(つじ類、 つばき類を除く)	カメムシ類	2000	100~300ℓ /10a				灌注
	ハモグリバエ類	1000~ 2000	1ℓ/m ²				
つばき類	ケムシ類	2000	100~700ℓ /10a	発生 初期			散布
つじ類	チャドクガ	100	0.5~2ℓ/樹 (但し、220ℓ /10aまで)		2回以内	株元 灌注	5回以内 (株元灌注は 2回以内)
	ツツジグンバイ ケムシ類		100~300ℓ /10a		5回以内		5回以内
水田作物、畑作物 (休耕田)*	カメムシ類	2000	60~150ℓ /10a	—	3回以内		散布
いね科牧草	アブラムシ類		100~300ℓ /10a	7日			3回以内 (塗布は1回以内)

★ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田

*収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数を示します。

本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。本印刷物は平成29年10月11日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成しています。

17125A/BU5


JAグループ

農

協

全

農

経

済

登録商標 第4702318号


サンケイ化学株式会社

 本社
宮崎事務所

 〒891-0122 鹿児島市南栄2丁目9
〒880-0056 宮崎市神宮東3-6-19(山本ビル) ☎(0985) 25-7051

☎(099) 268-7588

■適用害虫及び使用方法(野菜)

(平成29年10月11日付拡大登録内容を含む)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期*	本剤の使用回数	使用方法	シノテフランを含む農薬の総使用回数
とうもろこし(子実)	ムギクビエアブラムシ、カメムシ類	2000	100~300ℓ/10a	前日	3回以内	散布	3回以内
未成熟とうもろこし	アブラムシ類、カメムシ類			7日	2回以内		2回以内
ばれいしょ	ワタアブラムシ			3日	1回		1回
かんしょ		2000~3000		前日	2回以内		
トマト	コナジラミ類	100	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊当り0.5ℓ**	鉢上時又は定植時	1回	灌注	
ミニトマト				定植時			
				3日			
ブロッコリー	アブラムシ類、コナガ	2000~3000		3日			
	アブラムシ類						
	コナジラミ類						
ピーマン	アブラムシ類	3000					
なす	アザミウマ類、カメムシ類	2000		前日			
とうがらし類	コナジラミ類	2000~3000					下表参照***
	アブラムシ類	3000					
	アザミウマ類	2000					
とうがらし(葉)	コナジラミ類	2000~3000		14日			
	アブラムシ類	3000					
	アザミウマ類						
かぼちゃ	アブラムシ類	2000					
ズッキーニ							
きゅうり	コナジラミ類、アブラムシ類	2000~3000	100~300ℓ/10a	前日	2回以内	散布	
	アザミウマ類、ウリハムシ	2000					
	カメムシ類						
きゅうり(葉)				3日			
きゅうり(花)	コナジラミ類、アブラムシ類	3000		前日			2回以内
すいか	アブラムシ類	2000~3000		7日			下表参照***
まくわうり		3000					2回以内
メロン	コナジラミ類	2000~3000		3日			
	アザミウマ類	2000					
	アブラムシ類	3000					
うり類(漬物用)	コナジラミ類、アザミウマ類	2000		7日			
	アブラムシ類	2000~3000					
にがうり	コナジラミ類			前日			
セルリー	アブラムシ類	2000		14日			
キャベツ	アブラムシ類、コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ	50~100	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊当り0.5ℓ**	定植前日~定植時	1回	灌注	下表参照***
	アブラムシ類	2000~3000					
はくさい	キスジノミハムシ	2000		3日			
	アブラムシ類	2000~3000			2回以内		
だいこん	キスジノミハムシ	1000		7日			
	アブラムシ類	2000~3000				散布	
わさび	アブラムシ類、ナトビハムシ	2000		育苗期			
煙わさび					3回以内		3回以内
クレソン	アブラムシ類	3000		3日			
レタス	アブラムシ類	2000~3000			2回以内		
非結球レタス	ハスモンヨトウ	50					
	アブラムシ類、ナモグリバエ	50~100	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊当り0.5ℓ**	定植前日~定植時	1回	灌注	
	アザミウマ類、ハモグリバエ類、シロイチモヨトウ、タネバエ、ネギコガ	50					
ねぎ	アザミウマ類	2000	100~300ℓ/10a	3日	2回以内	散布	下表参照***
		1000	1ℓ/m ²				
	ハモグリバエ類	400	0.4ℓ/m ²	生育期但し、14日	1回	株元灌注	
	トビロヒョウタンゾウムシ						
	クロバネキノコバエ類	1000	1ℓ/m ²				

*収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数を示します。 **セル成型育苗トレイ、ペーパーポットは30×60cm使用土1.5~4.0ℓ(トマト、ミニトマト、ブロッコリー、レタス、非結球レタス、ねぎ)、約3ℓ(キャベツ)

**適用場所:水田 ※適用場所:ガラス室等の施設

***シノテフランを含む農薬の総使用回数

きゅうり	4回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
とうがらし類	
すいか	
かぼちゃ、にがうり、うり類(漬物用)、食用きゅうり、セルリー、とうがらし(葉)、しそ	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
ズッキーニ	4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
なす	
ピーマン	3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
メロン	3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)

トマト	5回以内(培土混和及び灌注は合計1回以内、育苗期の株元散布は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
ミニトマト	
ブロッコリー	3回以内(定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
はくさい	
キャベツ	3回以内(育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
ねぎ	4回以内(は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
にら	3回以内(生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
レタス	4回以内(は種時の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
非結球レタス	

かぶ、非結球あぶらな科葉菜類(チンゲンサイを除く)、なばな類、ほうれんそう	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
だいこん	5回以内(は種時の播種土壌混和は1回以内、は種時の全面土壌混和は1回以内、粒剤の散布は1回以内、水溶剤及び液剤の散布は合計2回以内)
チンゲンサイ	3回以内(は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
しゅんぎく	
オクラ、さやえんどう、実えんどう、さやいんげん、しょうが	3回以内(株元散布は1回以内、散布は2回以内)
にんじん	4回以内(は種時の土壌混和は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
ふき	3回以内(土壌表面散布は1回以内、散布は2回以内)

△使用上の注意事項

●使用にあわせ薬液を調整し、使いきってください。●つまみ菜、間引き菜には使用しないでください。●ぶどうの幼果期から果粒肥大期の散布は、果粉の溶脱の恐れがあるので使用を避けてください。●本剤をセル苗に使用する際は、調製液をセル成型育苗トレイまたはペーパーポット上から灌注してください。また、本剤が土壌に十分に吸収されない恐れがあるので処理直前や直後の灌水はさけてください。●かんきつ類の苗木に用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して使用してください。なお、本剤を処理してから効果が発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に処理してください。●本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した薬液がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落とすしてください。●水耕栽培に使用する場合は、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理してください。●室に対して影響があるため、周辺の農薬にはかからないようにしてください。●ミツバチに対して影響があるため、以下のことに注意してください。①ミツバチ等の集蜂及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。●本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。使用後は洗顔してください。●街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう、縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。●本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。●よく適用作物に属する作物またはその新品種に本剤をはじめとして使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の処置を受けてください。皮膚等にかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の処置を受けてください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○容器・空袋などは農場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記録しましょう。